

Ⅲ くらしのサポーター向け活動情報のご案内

Ⅲ くらしのサポーター交流コーナー

●研修会（県央部）を1／31に開催しました。

研修会でいただいた、くらしのサポーターの質問や意見をご紹介します。貴重なご意見やご提案ありがとうございました。

サポーター：高齢者で特に一人暮らしの人に伝える方法として案があります。

- ・ディサービスでの勉強会
- ・訪問ヘルパーへの研修・情報提供
老人会の人たちでリーダーの人なら一人暮らしの人を把握できている。
- ・民生委員さんとの連携
- ・地域で多くのくらしのサポーターさんが出来ると、地域ごとで話し合いが出来る。

手話を習っているので、障害者の方々にも連絡したい。講座の時間も作りたい。

センター：高齢者等の被害の未然防止のために、現在、市町村、市町村地域包括支援センター、社協を訪問し、くらしのサポーター登録協力やメルマガ登録を呼びかけています。くらしのサポーターの中で、ご了解いただいた方には、市町村から消費生活相談や啓発の情報や案内がくるようにもしたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。



くらしのサポーターコラム欄

★ 円の内角が為替レートに ★

若い方には分かり難い話だが、1970年ころのことである。円の切り上げが新聞紙上を賑わした。この切り上げの例として自動車を10台売って11台分の金が入ると教えられたが分からなかった。

1ドルは360円と固定であったからであるが、この360円と決められたのは、円の内角が360度であるからだと知ったときは、驚きよりもただ呆れたものだった。

終戦後の不安定な経済状況では、為替レートを決めるのは難しかったに違いない。それにしてもふざけた話と思うのだ。が、円の内角は360度というのが広く知られていたので、長く固定のレートが続き、覚えやすく、日本の経済が発展したのかも知れない。

くらしのサポーター 三原茂

雄



担当者よりお知らせ

いよいよ、2006くらしのサポーターのみなさんの活動手帳をご提出いただく時期となりました。

登録事業を昨年6月から始めてから、通信による情報提供や研修会・くらしのサポーター交流会開催などを実施してまいりましたが、担当としては反省することも多く、今後、2007くらしのサポーターとして継続してご活躍いただくためには、より内容の充実に向けて、みなさんのご意見も取り入れながら、計画してまいりたいと考えています。

今年度、2006くらしのサポーターとして、皆様には、大変お世話になりました。ご案内のとおり、活動の記録（活動手帳）は、3月16日までに提出いただくことといたしましたので、よろしくお願いします。

重ねてのお願いですが、現在、登録していただいている皆様方には、引き続き、2007くらしのサポーターとして、登録を継続していただけますようよろしくお願い申し上げます。